

士別市(北海道)

(2006年5月8日現在)

1. 新市の基礎情報

合併の期日：2005年9月1日	合併の方式： <input checked="" type="checkbox"/> 新設・編入	<p>旧士別市</p> <p>旧朝日町</p>
市となるべき要件の特例の適用：有(人口要件・市の全域を含む新設合併)・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
人口 ⁽¹⁾ ：24,991人(高齢化率 ⁽²⁾ 24.8%)	面積 ⁽³⁾ ：1,119.29k m ²	
議員数 ⁽⁴⁾ ：32人(法定上限26人)	一般職員数 ⁽⁵⁾ ：357人	
財政力指数 ⁽⁶⁾ ：0.271	経常収支比率 ⁽⁷⁾ ：未算出	
2004年度歳入予算額 ⁽⁸⁾ ：17,821,491千円		
うち、地方税2,144,811千円、地方交付税6,786,411千円		
合併特例債発行予定額5,750百万円／同限度額6,730百万円		
産業構造 ⁽⁹⁾ ：第一次産業20.2%、第二次産業24.3%、第三次産業55.5%		

(出典) (1)(2)(9)：2000年「国勢調査」。 (3)：2004年10月「全国都道府県市区町村別面積調」。
 (4)：合併時の数。欠員2人だったため定数と異なる。(5)(6)：合併時の実数。(8)：2004年度当初予算額。

2. 合併関係市町村の基礎情報

関係市町村	人口 ⁽¹⁾	高齢化率 ⁽²⁾	面積 ⁽³⁾	議員数 ⁽⁴⁾	一般職員数 ⁽⁵⁾	財政力指数 ⁽⁶⁾	経常収支比率 ⁽⁷⁾
旧士別市	23,065人	24.2%	597.28k m ²	22人	303人	0.27	89.3%
旧朝日町	1,926人	32.2%	522.01k m ²	12人	58人	0.15	88.6%

(出典) (1)(2)：2000年「国勢調査」。 (3)：2004年10月「全国都道府県市区町村別面積調」。
 (4)：合併直前の定数。(5)(6)(7)：2003年度「市町村別決算状況調」。

3. 合併の特徴

(1) 合併の理由・目的<⑤財政状況、②地方分権推進、④少子高齢化>
<p>厳しい財政状況のもと、多様化する住民ニーズに応え、住民に十分な行政サービスを提供するためには、合併による簡素で効率的な自治体を目指す必要があった。</p>
(2) 合併のプロセスで重視したこと<⑤新市の名称、⑨市と町の合併のため、合併町が疲弊しない取り組み、②住民の理解>
<p><最も重視したことの具体的な内容></p>
(3) 中心となって合併を推進した人物・団体等<①首長、③住民>
<p><合併推進の具体的な活動></p> <p>合併協議対象自治体の一本化が難航したことから、一方を対象とした合併協議会設置を求める「住民発議」が行われた。</p>

4. 合併協議

(1) 今回の合併以前における合併協議の経緯	
今回合併した1市1町を含む、近隣の1市3町で任意合併協議会を設置したが、具体的な合併協議には至らずに解散した。	
(2) 合併関係市町村以外の市町村との合併協議	
上記に同じ。なお、現在は他の合併協議は行っていない。	
(3) 合併関係市町村の従前のつながり	
②郡の構成市町村の一部、④一部事務組合（複合的一部事務組合を含む）の構成市町村の一部、⑧広域市町村圏の構成市町村の一部、⑩生活圏が一致	
(4) 合併の端緒	
2004年3月、住民有志により組織した会が中心となり、合併協議会の設置を求める住民発議を行った。	
(5) 任意の合併協議会（設置期間：2003年4月16日～2003年12月10日）	
※上記は3町による任意協の設置期間、士別市は2003年7月28日途中加入。 解散日については同じ。）	
構成メンバー	首長、議員各2名 計12名
運営上の工夫	特になし。
(6) 法定協議会（設置期間：2004年4月30日～2005年8月31日）	
住民発議等	有（直接請求）（旧士別市と合併協議を進めるべきだという考え方を持つ、町民有志で組織する「市町村合併を考える会」が中心となり、有権者の57%の署名簿を添付して設置を請求した。）
構成メンバー	首長、助役各1名、議員各6名、住民各10名 計36名
運営上の工夫	合併協議会委員をメンバーとする、新市の名称及び自治組織等を検討するための別委員会を設置して協議。
(7) 基本5項目（①方式、②期日、③名称、④事務所の位置、⑤財産）	
＜協議を行ううえでの工夫＞	
上記＜運営上の工夫＞でも回答のとおり、新市の名称を協議するため、合併協議会とは別の委員会で協議した。	
＜協議開始および決定の時期＞	
	(①方式) (②期日) (③名称) (④位置) (⑤財産)
協議開始：	04年5月 04年5月 04年5月 04年5月 04年5月
合意：	04年5月 04年5月 04年10月 04年5月 04年5月
＜決定に至るまでに最も難航した項目と解決策＞	
	③名称
上記でも回答のとおり、新市の名称を協議するため、合併協議会委員をメンバーとする、新市の名称及び自治組織等を検討するための別委員会を設置して協議。	
＜基本項目①「合併の方式」の決定理由＞	
	新設・編入
自治体が有する主権は、単に人口の大小ではなく、合併協議は対等・平等が原則との考えに基づき。	

<基本項目②「合併の期日」の決定理由> 2005年9月1日合併																																																
合併町の首長及び議会議員の任期(2005.9.17)を考慮したため。																																																
<基本項目③「新市の名称」の決定手続き・理由> 公募有・無																																																
決定手続：合併協議会委員で構成する別委員会で検討し、両市町委員の合意を得てから、合併協議会で提案・協議・確認を行った。新市名の確認後に住民説明会を開催したが、特に参加者の異論は無かった。 選定理由：愛着や歴史、改名した場合の費用負担関係、改名に伴う住民の手続等を考慮し、旧市名を選択。また、合併した町は、旧士別市を構成した町から分村したため、比較的決定に抵抗が無かったものとする。																																																
<基本項目④「新事務所の位置」とその決定理由・工夫した点> 既存施設・新規建設																																																
住民の利便性がよく、広いため、旧士別市庁舎を新庁舎として使用することとした。 (新事務所以外の関係市町村の旧庁舎の取り扱い) 新市の総合支所とした。																																																
<基本項目⑤「財産の取扱い」> (新市に引き継がなかった、または引き継ぐかどうか問題となった財産) 正負ともなし。																																																
(8) 新市建設計画																																																
計画の期間：合併年+10年の計11年 理由 合併算定替との整合に配慮するとともに、合併による急激な変化を避け、新市の緩やかな一体化にも配慮した結果。																																																
<策定に当たっての工夫> 特になし。																																																
<関係市町村間での調整が難航した項目> 特になし。																																																
<新市建設計画の特徴または合併の理由・目的を達成するための工夫> 特になし。																																																
<新市建設計画と関係市町村の基本構想、総合計画(基本計画・実施計画等)の内容> 合併市町で策定されていた総合計画等の内容については、できる限り尊重し、新市の建設計画に位置付けることとした。																																																
単位：百万円 ()は%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">合併前 (2003年度)⁽¹⁾</th> <th colspan="3">財政計画</th> </tr> <tr> <th>2005年度</th> <th>2010年度</th> <th>2015年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳入合計</td> <td>18,576</td> <td>16,970</td> <td>15,080</td> <td>14,229</td> </tr> <tr> <td> 地方税</td> <td>2,273(12.2)</td> <td>2,234(13.2)</td> <td>2,145(14.2)</td> <td>2,063(14.5)</td> </tr> <tr> <td> 地方交付税</td> <td>7,677(41.3)</td> <td>7,655(45.1)</td> <td>7,073(46.9)</td> <td>6,645(46.7)</td> </tr> <tr> <td>歳出合計</td> <td>18,248</td> <td>16,970</td> <td>15,080</td> <td>14,229</td> </tr> <tr> <td> 人件費</td> <td>3,292(18.0)</td> <td>3,113(18.3)</td> <td>2,519(16.7)</td> <td>2,207(15.5)</td> </tr> <tr> <td> (参考：一般職員数)</td> <td>(361人)</td> <td>(371人)</td> <td>(-)</td> <td>(297人)</td> </tr> <tr> <td> 公債費</td> <td>2,657(14.6)</td> <td>2,338(13.8)</td> <td>2,539(16.8)</td> <td>2,257(15.9)</td> </tr> <tr> <td> 普通建設事業費</td> <td>3,449(18.9)</td> <td>2,522(14.9)</td> <td>2,339(15.5)</td> <td>2,082(14.6)</td> </tr> </tbody> </table>	合併前 (2003年度) ⁽¹⁾	財政計画			2005年度	2010年度	2015年度	歳入合計	18,576	16,970	15,080	14,229	地方税	2,273(12.2)	2,234(13.2)	2,145(14.2)	2,063(14.5)	地方交付税	7,677(41.3)	7,655(45.1)	7,073(46.9)	6,645(46.7)	歳出合計	18,248	16,970	15,080	14,229	人件費	3,292(18.0)	3,113(18.3)	2,519(16.7)	2,207(15.5)	(参考：一般職員数)	(361人)	(371人)	(-)	(297人)	公債費	2,657(14.6)	2,338(13.8)	2,539(16.8)	2,257(15.9)	普通建設事業費	3,449(18.9)	2,522(14.9)	2,339(15.5)	2,082(14.6)
合併前 (2003年度) ⁽¹⁾	財政計画																																															
	2005年度	2010年度	2015年度																																													
歳入合計	18,576	16,970	15,080	14,229																																												
地方税	2,273(12.2)	2,234(13.2)	2,145(14.2)	2,063(14.5)																																												
地方交付税	7,677(41.3)	7,655(45.1)	7,073(46.9)	6,645(46.7)																																												
歳出合計	18,248	16,970	15,080	14,229																																												
人件費	3,292(18.0)	3,113(18.3)	2,519(16.7)	2,207(15.5)																																												
(参考：一般職員数)	(361人)	(371人)	(-)	(297人)																																												
公債費	2,657(14.6)	2,338(13.8)	2,539(16.8)	2,257(15.9)																																												
普通建設事業費	3,449(18.9)	2,522(14.9)	2,339(15.5)	2,082(14.6)																																												

(1)2003年度「市町村別決算状況調」の積み上げ

(9) 都市計画区域・用途地域の新たな設定・変更等	
新たな設定・変更等は行っていない。	
(10) 住民への情報提供等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌等の配布（全 16 号。配布方法：全戸配布） ・ 住民説明会の開催（延べ 17 回開催、延べ 357 人参加） ・ H P の開設（2004 年 4 月開設、不定期更新、アクセス数 37,000 回） 	
(11) 住民の意向を問う住民投票・調査等の実施	
実施していない。	
(12) 都道府県からの支援	
財政支援：地域政策補助金…………… 10,800,000 円	
人的支援：道職員の合併協議会出席（オブザーバーとして出席）	
(13) 外部コンサルタントへの委託： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	
委託費	12,496 千円
委託内容	事務事業一元化支援・新市建設計画策定支援・電算業務統合計画策定支援・市章選定業務支援等。

5. 合併の内容

(1) 議員	
特例の適用	<input checked="" type="checkbox"/> （定数特例（定数 人））・ <input checked="" type="checkbox"/> （在任特例（在任期間 8 ヶ月））・無
その理由	旧朝日町議会議員の任期は 2005. 9. 17、旧士別市議会議員の任期は 2006. 11. 30 と違いがあり、在任特例により任期を 2006. 4. 30 とした。特例任期を 4/30 としたのは、合併に携った議員により新市の予算を成立させ、新議員に引継ぐべきとの考えによる。
(2) 農業委員会の委員	
特例の適用	<input checked="" type="checkbox"/> （2006 年 7 月 19 日まで特例措置を適用）・無
その理由	両市町の現委員は特例により留任することとした。
(3) 三役	
旧士別市	市長は新市の市長、助役、収入役は失職。
旧朝日町	町長は失職、助役は新市の助役、収入役は失職。
(4) 一般職	
定員管理	<定数の削減>定員管理計画を策定中。 <新規採用の抑制>定員管理計画を策定中。
給与の調整	<給料表の統一> 旧士別市に統一。
役職の調整	旧士別市の年齢等の平均的な職位に配慮して調整した。
(5) 組織・機構の整備方法	
総合支所方式を採用し、総合支所内で事務が完結できるよう改組した。	
(6) 関係市町村の従前の支所・出張所の整備方法	
旧士別市	出張所の 3 箇所は、引き続き出張所として設置。（変更なし）
旧朝日町	支所・出張所なし。

(7) 地域審議会等		
設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> (合併特例区を旧朝日町に設置)・無	
その理由	合併後においても、特色あるまちづくりと地域振興を進め、地域の課題を住民に身近な行政が処理することができるよう、緩やかな一体化を目指すために設置した。	
(8) 市町村税のうち、税率の調整を要した税目とその調整方法		
法人市民税	旧士別市 14.7% (制限税率) 旧朝日町 12.3% (標準税率)	2008年4月制限税率に統一。
(9) 上下水道使用料 (調整方針：当面は旧自治体ごとに従前のおりとする)		
上水道料金	2008年4月に統一 (額未定)。	
下水道料金	2008年4月に統一 (額未定)。	
(10) 上下水道以外の使用料等 (調整方針：個々のケースにより異なる。)		
例外措置	特になし。	
(11) 国民健康保険事業の調整 (調整方針：当面は旧自治体ごとに従前のおりとする。2006年度に統一し、税率改正を行う。)		
賦課徴収方法	旧士別市 税方式 旧朝日町 税方式	
所得割	旧士別市 10.0% 旧朝日町 10.5%	2008年4月税率改正。
資産割	旧士別市 40.0% 旧朝日町 86.0%	2008年4月税率改正。
均等割	旧士別市 27,000円 旧朝日町 31,500円	2008年4月税率改正。
平等割	旧士別市 29,000円 旧朝日町 38,000円	2008年4月税率改正。
(12) 介護保険事業 (調整方針：当面は旧自治体ごとに従前のおりとする。2006年度に統一する。)		
第1号被保険者の月額基準保険料	旧士別市 3,141円 旧朝日町 4,300円	2006年度に統一した保険料とする。(介護保険事業計画の見直し年度にあたるため)
(13) 電算システムの取扱い (合併関係市町村のうち、いずれかのシステムに統一した)		
整備方法	旧士別市のシステムに統一した。	
(14) 町・字の名称・区域		
名称・区域の変更	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	
変更した場合、その内容と理由	合併時の調整方針に基づき、旧朝日町で告示していた名称から”字”の名称を削除するため。	

6. 合併後の状況

(1) 合併による財政削減効果：未算出	
(2) 基本構想および総合計画の策定	
基本構想	今後策定に取り掛かる予定(2007年度策定予定)
総合計画	今後策定に取り掛かる予定(2007年度策定予定)
(3) 合併による効果<特になし>	
(4) 合併による問題点と解決策<特になし>	
(5) 残された課題	
特になし。	